

【基本情報】

教 科	理 数	学 年	3 年	教科書	
科 目	S S 理科Ⅲ (地学分野)	単位数 (年間予定コマ数)	3 (96)	副教材	地学基礎（啓林館）・地学（啓林館） ニューステージ新地学図表（浜島書店） チェック＆演習 地学基礎（数研出版）・センサー地学（啓林館）
科 目 概 要	・地球や地球を取り巻く環境についての基本的な概念や原理・法則について、身近な自然現象との関連を図りながら学習する。地学的な探究活動を通して、科学的な見方や考え方を身につける。さらに発展的な学習をすることによって地学への理解をさらに深める。				
到 達 目 標	・日常生活や社会との関連を図りながら地球や地球を取り巻く環境への関心を高め、地学的に探究する能力と態度を身につける。 ・地学の基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な見方や考え方を身につける。 ・大学入試センター試験「地学基礎」「地学」に対応するために必要とされる知識や思考力を身につける。。				
授業の進め方	・教科書・図表を基にした講義を中心に授業を進める。 ・学習内容に関わる探究活動を行うことで、知識や理解の定着を図る。				
留 意 事 項	・教科書・副教材（図表・問題集）・ノート・ワークシート等を綴じるファイルを持ってくること。 ・グループで実習を行う際には、積極的参加しメンバーと協力すること。 ・忘れ物をした場合は、事前に申し出ること。提出物の期限を守ること。期限に遅れた場合は、減点になる場合がある。。 ・講義に対して、質問するなどの積極的な姿勢を歓迎する。				
家 庭 学 習	・履修した内容について、教科書と副教材の問題演習を家庭学習において解いてください。				
備 考	・日常生活の中で起こる様々な自然現象に興味をもち、その法則性や仕組みについて、学習内容と関連づけて考える態度をもつこと。 ・疑問に思ったことを確かめてみようという態度をもつこと。 ・学んだことを正確に記録する方法と態度を身につけること。 * この授業は週４コマ実施する（年間総授業数１５６コマ）				

【評価の方法】

観 点	ポイント	割 合	評価項目
A. 関心・意欲・態度	日常生活や社会との関連を図りながら地球や地球を取り巻く環境について関心を持ち、意欲的に探究しようとするとともに、地学的な事物や自然現象の概念について科学的な見方や考え方でとらえようとする。	2 0 %	授業ワークシート・観察・実験での取り組み状況やレポート、小テスト、定期考査など、随時観点別項目を設定し評価する。
B. 思考・判断・表現	地球や地球を取り巻く環境に関する事物や自然現象に対して、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	3 0 %	
C. 技能	地球や地球を取り巻く環境に関する観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。	2 0 %	
D. 知識・理解	地球や地球を取り巻く環境について、基本的な概念や原理・法則を整理し、知識を身につけている。	3 0 %	

【年間計画】

単 元	配当時数	学習内容	観点別評価				到達目標
			A	B	C	D	
< 3年 前期 > 第1部 固体地球の概観と活動 第1章 地球の概観 6 第2章 プレートテクトニクス 15 第3章 地球の活動 10		・重力の観測，地震波の観測，地殻熱流量の観測，地磁気の観測などから，地球内部の様子がわかることを学ぶ。 ・プレートの生成・移動で統一的に理解しようとするプレートテクトニクスの枠組みについて学び，プレートテクトニクスとマントルの動きについて理解する。 ・地震や地殻変動，火山の噴火や火成岩の形成などのさまざまな地球の活動を，プレートの運動と関連させて学ぶ。	○	○	○	○	・重力の観測，地震波の観測，地殻熱流量の観測，地磁気の観測などから，地球内部の様子がわかることを理解する。 ・種々の地学現象を，プレートの生成や移動で統一的に理解しようとするプレートテクトニクスの枠組みについて学び，プレートテクトニクスとマントルの動きについて理解する。 ・地震や地殻変動，火山の噴火や火成岩の形成などのさまざまな地球の活動を，プレートの運動と関連させて理解する。
第2部 地球の歴史 第1章 地表の変化と地層 9 第2章 地球・生命・環境の歴史 8 第3章 私たちの日本列島 10		・地層がどのように積み重なり，どのように広がって分布しているか表す地質図について学ぶ。また，造山運動による地質構造や変成岩の形成，地層から情報を読み取って地質時代を組み立てることを学ぶ。 ・生命活動の場である地球表層の地殻や大気・海洋と，生物が，46億年に及ぶ地球史の中でどのように変化してきたのかを学ぶ。 ・日本に産する岩石や地層の記録から，日本列島の起源や成長の歴史を学ぶ	○	○	○	○	・地層がどのように積み重なり，どのように広がって分布しているか表す地質図について理解する。 ・造山運動による地質構造や変成岩の形成，地層から情報を読み取って地質時代を組み立てることを理解する。 ・生命活動の場である地球表層の地殻や大気・海洋と，生物が，46億年に及ぶ地球史の中でどのように変化してきたのかを理解する。 ・日本に産する岩石や地層の記録から，日本列島の起源や成長の歴史を理解する。
< 3年 後期 > 第3部 大気と海洋 第1章 大気の構造 8 第2章 大気の運動 15 第3章 海洋と海水の運動 10 第4章 気候変動と地球環境 10		・大気中の水が気象に果たしている役割をとらえ，雨や雲の形成について学ぶ。また，地球全体のエネルギー収支について学ぶ。 ・風の吹き方と大気の大循環について学び，世界と日本の気候に結びつけて理解する。 ・地球環境の形成や維持に大きな役割を果たしている海洋の構造と，海流や深層循環などの海洋の循環，津波や潮汐などの海水の運動について学ぶ。 ・エルニーニョ現象などの自然な気候変動と，気候変動を引き起こす可能性がある人間の活動について，地球表層の物質の循環・輸送と関連づけて学ぶ。	○	○	○	○	・大気中の水が気象に果たしている役割をとらえ，雨や雲の形成について理解する。 ・地球全体のエネルギー収支について理解する。 ・風の吹き方と大気の大循環について理解し，世界と日本の気候に結びつけて理解する。 ・地球環境の形成や維持に大きな役割を果たしている海洋の構造と，海流や深層循環などの海洋の循環，津波や潮汐などの海水の運動について理解する。 ・エルニーニョ現象などの自然な気候変動と，気候変動を引き起こす可能性がある人間の活動について，地球表層の物質の循環・輸送と関連づけて理解する。
第5部 自然との共生 地球環境と人類 自然災害と防災 に関する探究活動	15	・地球環境と人類または自然災害と防災に関する探究活動を行う。	○	○	○	○	・地球環境と人類、自然災害と防災に関する探究活動を通して、諸課題に対する自身の意見を表現することができる。